

緑深き里山のんびりコース



純農村の佇まいが残る集落を訪ねて

平賀地区

- 「順天堂大学」バス停 (ちばグリーンバス 印旛学園線)
- 来福寺
- 薬師堂
- 仁王尊
- 宗像神社 (平賀)
- 平賀出張所
- 「平賀連絡所」バス停 (ちばグリーンバス 印旛学園線) 距離：約4km

タカ類の飛翔期待

巨木に囲まれた境内はリラックゾーン

ヒイラギの花

台地上の畑

89段の階段を登ると静寂の森に行むお堂

「平賀連絡所」バス停 平賀出張所

宗像神社 (平賀)

仁王尊

薬師堂

来福寺

台地上から見る水田は広大

平賀

順天堂大学

「順天堂大学」バス停

サギなどの野鳥が見られる

ツバメの巣

宗像神社参道 (平賀)

特定外来生物

日本古来の生物を駆逐する 110 種の動植物が、法律で「特定外来生物」に指定されている。印旛沼で増えたカミツキガメは、2015 年県内で 900 頭以上を駆除。農作物を食い荒らすアライグマは年に約 3,000 頭が捕獲された。特定外来生物ではないが、農地を荒らすイノシシは市内で年間約 500 頭が捕獲されている。タヌキ、ハクビシンの被害も大きい。一方、小さいながらも「メダカそっくりさん」のカダヤシは、“先住民”メダカの食・住・命に多大な影響を与えている。



遠い昔に想いをはせて歩く

松虫・吉高地区

萩原

道路沿いの立木や生垣にテイカカズラが自生

いには野アカガエルの里

いんば学舎

杉自塚

萩原公園

藤づるの絡まるスタジイの大木

松虫寺

皇女松虫姫の伝説の里

松虫

松虫姫公園

牛むぐりの池

アケビやガマスミなど植物観察

浅間神社

大日如来尊堂

吉高の大桜 (民有地)

樹齢 300 年のヤマザクラは見事そのもの

吉高の大桜 (桜祭り時トイレあり)

松虫川

松虫川

印旛中央公園

「印旛公民館」バス停

印旛公民館

印旛中央公園

「印旛公民館」バス停

いには野アカガエルの里

里山の小道

距離：吉高の大桜経由→印旛日本医大駅・・・約 9km、印旛中央公園・・・約 7km
スタジイの大木経由・・・約 7km

- 平賀地区
- 来福寺
- 薬師堂
- 仁王尊
- 宗像神社 (平賀)
- 平賀出張所
- 「平賀連絡所」バス停 (ちばグリーンバス 印旛学園線) 距離：約4km

天然記念物

国の天然記念物「木下(きおろし)貝層」は 12～13 万年前の海底が隆起したもの。高さ十数mのむき出しの地層は、海の貝の化石(100 種以上)のサンドイッチだ。周辺には木下万葉公園があり、2016 年に市の歴史資料センターも出来た。貝化石の地層は木下の所々にある。天然記念物に指定される前に住民が作った貝化石の石灯笼や石垣が、街中で散見される。

市内外に人気があるのは、「吉高(よしたか)の大桜」だ。ヤマザクラで、満開はソメイヨシノより 1 週間ほど遅く花期も短い、多くの人でにぎわう。本茎には樹齢 1000 年、高さ 15m の「藤の木」があるが、個人宅の裏山なので見学は難しい(ともに市指定天然記念物)。「将監(しょうげん)のオニバス」は県の天然記念物だが、近年は現地での自生は確認されていない。

吉高の大桜 (市指定天然記念物)

ナウマン象にまつわるロマンの里を歩く

瀬戸・山田地区

「印旛公民館」バス停 印旛公民館

ナウマン象化石の産出場所

橋からの眺めは溪谷風で超一級

市井橋

山田橋

ナウマン象産出看板

不動院跡

山田

道祖神

開運院

宗像神社 (山田)

第六天神社

農産物直売所 グリープ

宗像神社 (瀬戸)

山田

八坂神社

老人ホーム「よしきり」

徳性院

水神社

西定寺

印旛捷水路

双子公園

干拓の碑

双子公園のナウマン象のオブジェ

「印旛公民館」バス停

山田橋

農産物直売所 グリープ

距離：市井橋経由・・・約 6km / 宗像神社(瀬戸) 経由・・・約 6km

境内をあげると眼前に印旛沼が広がる

セイウミツバチ

サルトリイバラ

根上りのスタジイ (宗像神社・瀬戸)

松虫川谷津